

平成28年6月1日

国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
東日本高速道路株式会社 関東支社 東京外環工事事務所
中日本高速道路株式会社 東京支社 東京工事事務所

東京外環自動車道(大泉JCT～和光北IC付近) ベルトコンベア設置に伴う車線規制の実施について

東京外かく環状道路は、首都圏の渋滞緩和等を実現する上で重要な道路であり、関越道から東名高速までの約16kmについては現在、国土交通省、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)が事業を推進しています。

現在大泉ジャンクション(JCT)では、本線シールドマシンが発進する立坑工事等を進めているところです。

このシールドマシンで掘削する土砂を効率的に掘削土仮置場(埼玉県和光市新倉)まで運搬するため、東京外環自動車道の大泉ジャンクション(JCT)から和光北インターチェンジ(IC)付近にかけて、現在の片側3車線を確保しつつ、外環本線上にベルトコンベアを設置します。

このベルトコンベア設置工事にあたっては、東京外環自動車道 大泉JCT～和光北IC間で夜間に車線規制を行います。

【今後の予定】

1. ベルトコンベア設置工事に伴う、夜間車線規制実施期間
平成28年6月8日[※]～平成29年9月末(予定)
2. ベルトコンベア設置による、車線シフト(車線及び路肩の幅員減少)期間
平成31年10月まで(予定)

当該区間をご利用されるお客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

※天候等により変更になる場合があります。

《夜間車線規制実施概要》

1. 規制区間

東京外環自動車道(大泉JCT～和光北IC付近)

2. 規制時期

平成28年6月8日※～平成29年9月末(予定)

3. 規制時間

19時～翌6時

4. 作業日

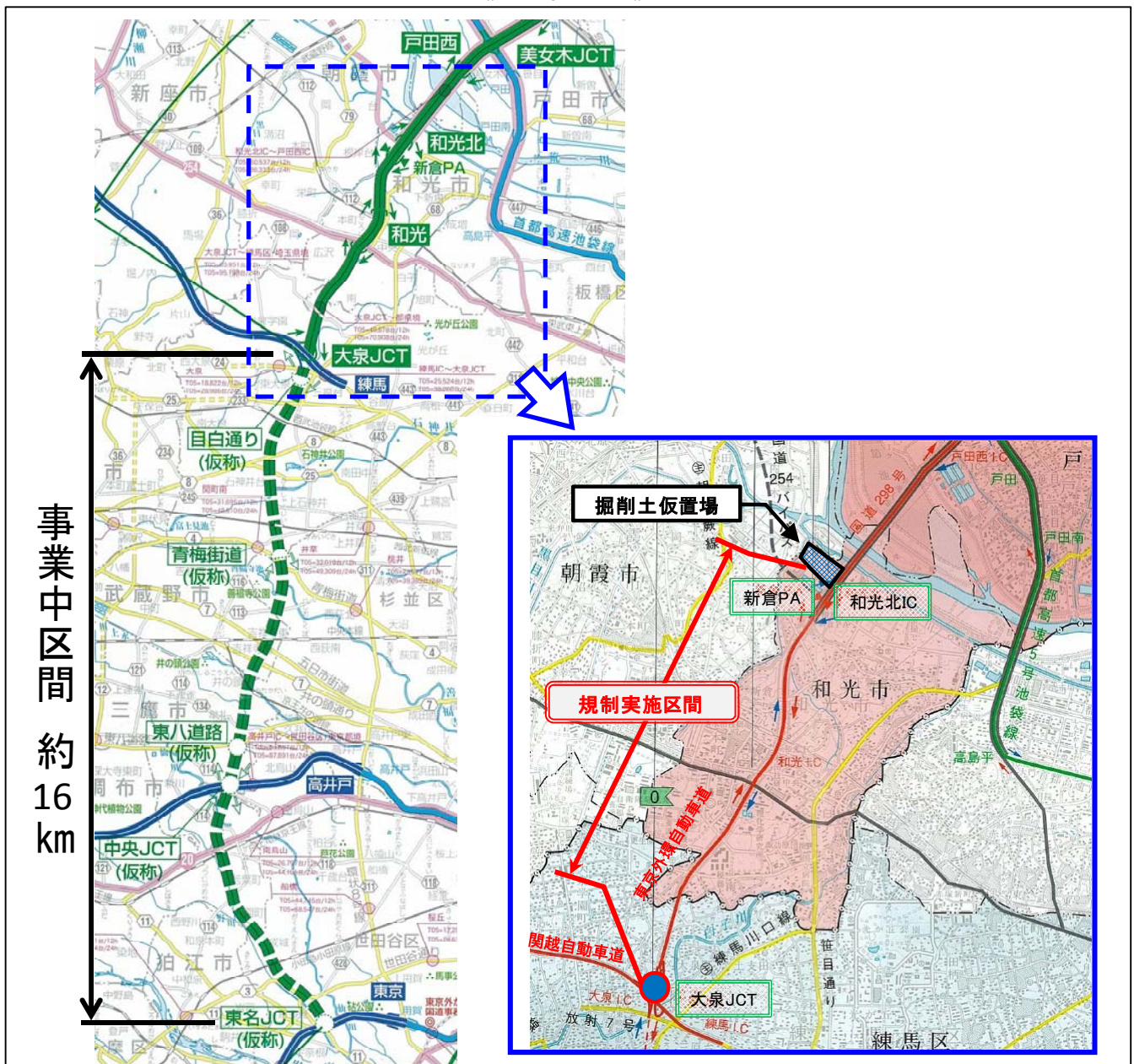
月曜日～金曜日(年末年始、GW及び夏期規制抑制期間を除く)

5. その他

ベルトコンベア設置に先立ち、6月より仮設防護柵を設置開始予定

※天候等により変更になる場合があります。

《位置図》



【参考①】大泉JCT立坑工事の状況

現在、立坑の掘削に先立ち、土留壁の工事等を行っています。



[凡例]
 土留壁施工済: ————
 土留壁施工中: - - - - -

《大泉JCT立坑付近》

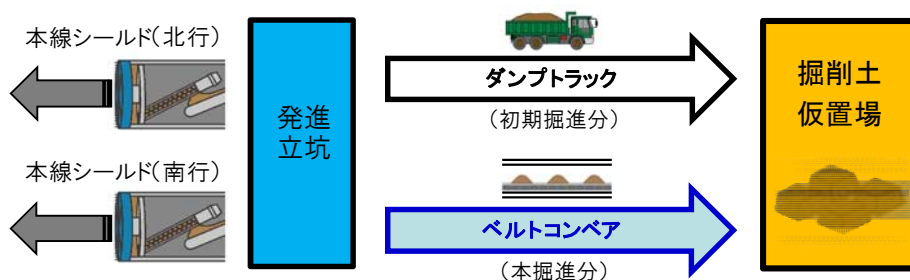
【参考②】ベルトコンベアの概要

- ①設置延長
 約6km[大泉JCT～掘削土仮置場
 (新河岸川水循環センター敷地内: 埼玉県和光市新倉)]
- ②運搬予定土量
 約240万 m^3 [東京ドーム約2個分=10tダンプで約50万台分]
- ③輸送能力
 約1,150t/h(約700 m^3 /h)

《ベルトコンベアルート》



《掘削土砂の流れイメージ》



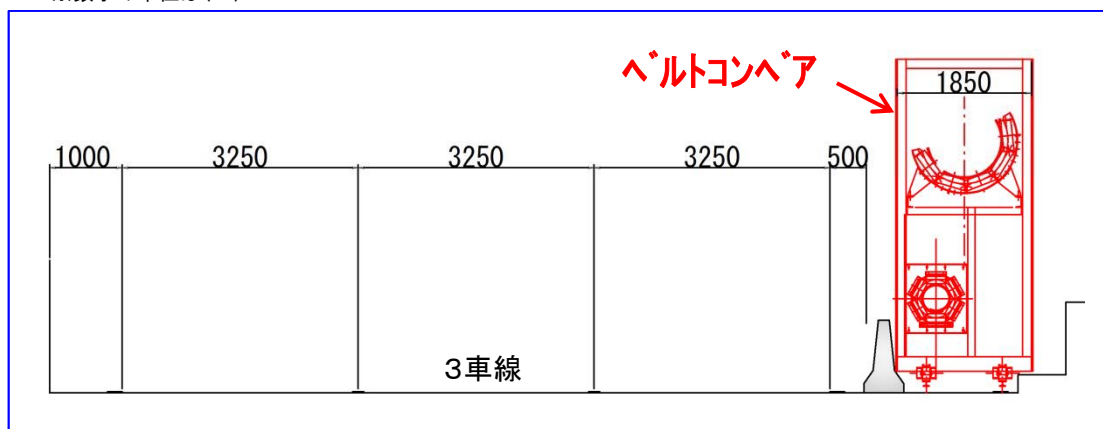
【参考②】ベルトコンベアの概要

○外環道通行車からのイメージ図



○ベルトコンベア設置断面図(車線シフト区間)

※数字の単位は(mm)



○設置するベルトコンベアの写真

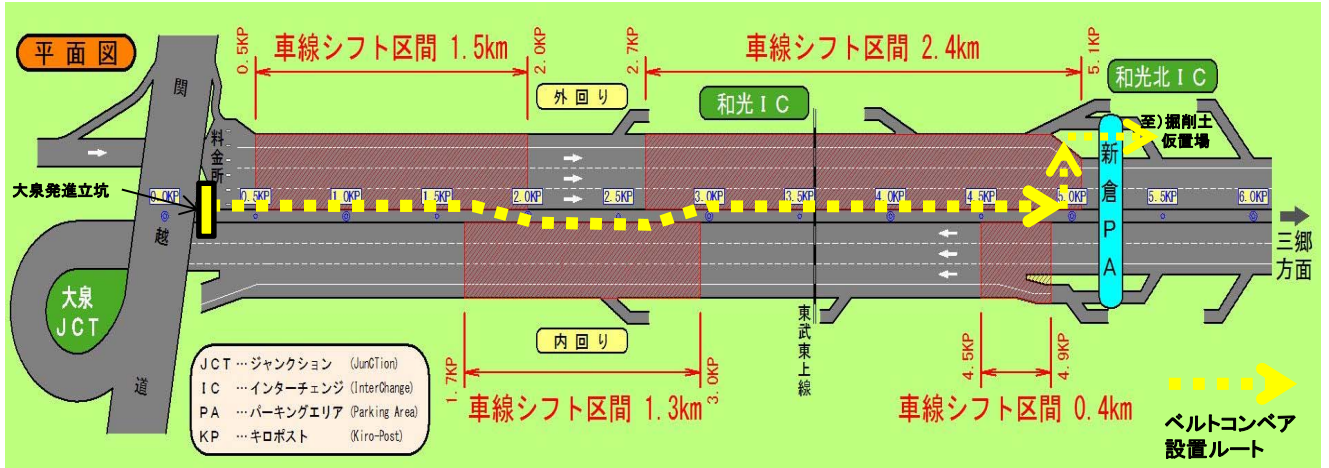


※側面と上面は防護パネルで囲われます

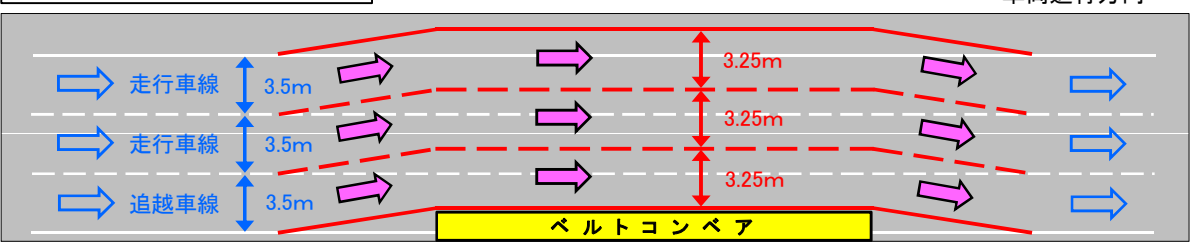
【参考③】ベルトコンベア設置に伴う交通運用

ベルトコンベアの設置に伴い、車線が一部シフトします。また、車線シフト区間では、車線及び路肩の幅員が減少します。

◆車線シフト区間位置図



車線シフト区間イメージ図



◆車線シフト区間断面図

